

平成29年度「オホーツク心の教育推進月間」における取組

重点1	いじめ等の未然防止に向けて、学校、家庭、地域、関係機関が一体となった児童生徒のコミュニケーション能力を育成する機会の充実
重点2	いじめ等の早期発見に向けて、保護者支援を含めた関係機関の連携による支援体制の充実

学校名	重点1について	重点2について
北見北斗高校 (全日制)	<p>○落ち葉清掃 落ち葉拾いの作業を通して地域住民や仲間との協働作業から生まれる豊かな感性の醸成に努め、共感的な人間関係の育成を通して生命や生活環境を大切にする心の育成と自他を尊重し合う集団づくりを目指している。</p> <p>○スクールカウンセラー(SC)だよりの発行と活用 SCだよりの発行を通して、SCの来校日を周知するとともに、いじめ等について多面的に考えてみる働きかけを行っている。</p> <p>○スマートフォン等の利用に伴う事故防止講演会 生徒一人一人が正しい使用について主体的に取り組むことで利用の際のマナーやその活用を見直すなど、コミュニケーション能力を高めながらいじめ等を含めたSNSに係るトラブルを未然に防ぐ指導を行っている。今年度は、北見警察署から講師をお願いした。</p>	<p>○いじめアンケートの実施 生徒自身の問題だけではなく、身近な友人たち、クラス、学年、学校全体の問題として考えていく指導も加えながら、いじめ等の早期発見に努めている。</p> <p>○アセス(学校環境適応感尺度)の活用 アセスを活用してデータに基づいた生徒指導・教育相談体制を構築し、生徒集団に対して担任等からの指導を通して、いじめ等の未然防止・早期発見に努めている。</p> <p>○OSC等との面談 全校的な教育相談体制の充実を図るため、保健室はもとより、生徒指導部・特別支援委員会・学年とも連携を図り、生徒や保護者に対してSCや担任等との定期的な面談を実施することでいじめ等の早期発見に努めている。</p>
北見柏陽高校	<p>○美術部及び器楽局による北見支援学校との交流を実施した。</p> <p>○佐呂間高校と合同開催した芸術鑑賞において、生徒会が中心となり生徒交流を実施した。</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した生徒理解の充実及び支援体制を強化した。</p> <p>○OSCを講師として、教育相談に係る校内研修を実施し、教員のコミュニケーションスキル及びカウンセリング能力の向上を図った。</p>
北見緑陵高校	<p>○どさんこ☆子どもオホーツク地区会議等への積極的な参加など、生徒会生徒が中心となって取り組んだ。</p>	<p>○学校環境適応尺度「アセス」の実施と活用</p> <p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p> <p>○いじめの実態や未然防止のための学校関係機関等の交流会への参加</p>
北見工業高校	<p>○イトーヨーカドー北見店で北工フェスティバルを実施した。市民の方と交流を深め、学校の情報を発信すると共に、生徒のコミュニケーション能力を高めた。</p> <p>○いじめ確認の日 毎月1回「いじめ確認の日」を設け、いじめの未然防止・早期発見に努めた。</p> <p>○生徒相談室の常設 生徒相談室を設け、担当者が常駐し相談を受けた。</p>	<p>○学校関係者を招き、いじめの実態や未然防止のための会議を実施</p> <p>○授業参観週間を設け、保護者に学校を公開した。</p> <p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化(2学年)</p> <p>○北工だよりを発行し、地域に広く情報を発信し、学校に対する理解を深めていただいた。</p>
北見商業高校	<p>○関係機関等の通知やポスターを生かしながら、教職員と生徒会及び風紀委員と連携し、取り組みを行った。</p>	<p>○外部機関からの各種資料を用いながら、いじめ調査を実施し、教育相談の充実を図った。</p>
網走南ヶ丘高校 (全日制)	<p>○網走警察署の協力を得たスマートフォン、SNS利用に関わるトラブル対応関連の講話の実施</p> <p>○ピアサポートを利用した自己肯定感・思いやりの心を育む取組の充実</p>	<p>○「ハイパーQU」を活用した支援体制の充実</p>
網走桂陽高校	<p>○10月から毎月第一月曜日を「桂陽・安全安心の日」とし、安全安心な学校づくりを目指して、いじめ防止やいのちの大切さなど、豊かな心を育む体育館HR(全校集会)を実施</p> <p>○警察の協力のもと、命の大切さや他者への思いやり等を学ぶ「命の大切さを学ぶ教室」を実施</p>	<p>○教育相談月間(10月)において、Q-Uを活用して面談の充実を図り、生徒支援体制の強化に努めた。</p>

紋別高校	<p>○北海道いじめ問題対策連絡協議会主催のポスター作成の実施</p> <p>○H29「どさんこ☆子ども地区会議」に参加し、いじめの未然防止の取組に向けた話し合いに参加</p> <p>○SNSによる誹謗中傷防止のポスター、標語作成の実施</p>	<p>○市内小中高による校外生活指導連絡協議会の実施</p> <p>○思いやりの心を育む、市内養護学校との生徒交流の実施</p>
美幌高校	<p>○美幌警察署、地域育成協議会との連携で特殊詐欺防止の啓蒙活動やポスターを作成を担った。</p> <p>○美幌警察署の協力を得て、地域の不法投棄について生徒への現状報告をいただき、ポスター作成を行った。</p> <p>○美幌町生徒指導連絡協議会への参加、情報交換させていただいた。</p> <p>○地域のお年寄り、警察署と連携し、部活動生徒が美幌駅舎、駅舎周辺の清掃活動を行った。</p>	<p>○教育相談アンケート・いじめアンケートを月一回行い、相談したい教師のリクエストも受付、細やかに対応できるように準備した。</p> <p>○個人面談週間を設け、担任・副担任以外の教師と面談を行った。</p> <p>○SNS利用、トラブル防止を全校集会で指導した。</p>
津別高校	<p>○「どさんこ☆子ども全道サミット」に生徒会会長・副会長が参加し、いじめ問題について他校児童生徒との意見交換を行った。またその内容を生徒会役員たちと共有した。</p> <p>○地域主催の祭典や音楽祭等、地域行事への積極的な参加や、地域のボランティアサークル(高校生ボランティアサークル「ひまわり」)への加入及びその活動を通して、多様な人間関係を結んでいく力を育んだ。</p>	<p>○いじめの防止に関する資料を生徒指導部によりに掲載し、その内容や意義に関して生徒に周知するとともに、改めていじめの根絶を訴え、生徒自ら、「いじめは絶対に許されないことである」という認識を持たせた。</p>
斜里高校	<p>○関係機関等の協力を得た、生徒会の取組の充実</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p> <p>○サポート委員会による、未然防止のための情報交換等による支援体制の強化</p>
小清水高校	<p>○自己肯定感や思いやりの心を育むために朝学習の中で週に1回担任と養護教諭による「こころ元気タイム」を実施</p> <p>○自分や周りの人を大切にするについて考えさせるため、保健師を講師として実施した「保健講話」の実施</p>	<p>いじめの実態や未然防止のための地域・学校関係機関等の連絡会への参加</p>
置戸高校	<p>○自己肯定感の育成を視野に置いた高齢者大学の来校交流</p> <p>○2年生徒の地元施設の協力を得た介護実習の取組</p> <p>○オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラムへの参加取組</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p> <p>○いじめの実態や防止のための関係機関等との研修会参加</p>

留辺蘂高校	<p>○グループホーム訪問実習で認知症高齢者や身体障害者との交流をとおして、主体的にコミュニケーションを図る能力を育むとともに介護現場の実態について理解を深めた。</p> <p>○クリーン作戦の実施。美化委員、生徒会執行部を中心に有志の生徒・教職員45名で、通学路の清掃活動を実施した。</p> <p>○生活点検表の実施結果を分析し、保健だよりで生徒へ日常生活への気づきを促し、心がける強い気持ち、積み重ねの大切さを呼びかけた。</p> <p>○週1回「Noケータイday」の実施。生徒会主体で進めているコミュニケーション能力の育成活動。</p> <p>○3年次の課題研究英語ゼミで幼稚園と小学校で外国語活動を実施し、異世代及び同世代とのコミュニケーション能力の向上を図った。</p> <p>○「地域を福祉の視点で見つめよう」をテーマに3年次の課題研究福祉ゼミで取り組み、車いすを利用する人の目線で道路を検証した「福祉マップ」を作成した。北見市留辺蘂まちづくり協議会で説明も行った。</p> <p>○2年次の家庭科の授業で、保育園児と交流し、健やかな心と身体の育成についての知識と技術を学びながら、異世代及び同世代とのコミュニケーション能力の向上を図った。</p> <p>○生徒会、校規指導委員会による「下校あいさつ運動」の実施。生徒間と町の方達に声をかけ、交通安全や通学マナー等の意識向上を図った。</p> <p>○アジア国際子ども映画祭訪日団との交流授業。「主体的・対話的で深い学び」の実施。日本と訪日国の文化を伝え合い、交流した。</p> <p>○3年次の課題研究福祉ゼミで中学校での出前授業を実施し、異世代及び同世代とのコミュニケーション能力の向上を図った。</p> <p>○今年度集めたペットボトルキャップを寄贈。発展途上国の子どもたちへ13人分のワクチンが送られる予定。</p>	<p>○年2回のいじめの実態や生徒のいじめに対する意識の把握とその対応</p> <p>○10・11月の2ヶ月間に3回のSCとの面談(カウンセリング)を実施。生徒の状況を教職員とSCと情報共有を図った。</p> <p>○学校環境適応感尺度(ASSESS)について第1回(4月実施)と第2回(9月実施)の結果の比較分析。自己理解を深め、今後の高校生活の在り方について考えさせることができた。また、子ども理解支援ツール「ほっと」と併用することで担任面談、三者面談等にも役立てている。</p> <p>○第2回PT派遣事業の実施。教育相談・特別支援の視点から生徒指導のあり方等を検討・協議した。</p>
佐呂間高校	<p>○地域の関係機関の協力を得て性教育講話「いのちについて考えよう」を開催</p> <p>○「どさんこ☆子ども地区会議」に参加し、いじめ未然防止に向けて協議</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p> <p>○佐呂間町教育講演会「この時代の家庭と子育てに必要なこと」について小中高PTA合同での開催</p>
常呂高校	<p>○地域の関係機関等の協力を得た、生徒会の取組の充実</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p>
遠軽高校	<p>○地域の関係機関等の協力を得た、児童会、生徒会の取組の充実</p> <p>平成29年度どさんこ☆子ども全道サミット、平成29年度どさんこ☆子ども地区会議の参加</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p>
湧別高校	<p>○地域の関係機関等の協力を得た、中高生徒会リーダー研修会の開催</p> <p>○自己肯定感や思いやりの心を育む小学生と高校生とのふれあい交流会の開催</p> <p>○市町村が独自に開催する子ども会議等の取組の充実</p>	<p>○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化</p> <p>○いじめの実態や未然防止のためのどさんこ☆子ども全道サミットへの参加</p>
興部高校	<p>○週番局活動(あいさつ運動、校内美化運動)</p> <p>○生徒会フォーラムへの生徒派遣と成果の還元</p>	<p>○生活アンケートによる生徒の状況把握</p> <p>○町内教育関係機関の交流会の開催</p> <p>○「校内研修プログラム」を活用したよりよい人間関係づくりの指導の充実</p> <p>○子ども理解支援ツール「ほっと」や不登校チェックシートを活用した支援体制の強化</p>
滝上高校	<p>○全校生徒参加のボランティア活動を通じ、自己有用感や思いやりの心を育む機会の充実</p> <p>○地域の議会議場を利用した生徒総会を実施することによる生徒会活動の充実。</p>	<p>○全校教育相談日を設定し、生徒が自分の意思や想いを表明しやすい環境づくりへの配慮。全教員による生徒一人ひとりについての情報共有、及び必要に応じた対策の検討。</p> <p>○スクールカウンセラーの定期訪問を実施し、困り感を抱える生徒が無理なくカウンセリングを受けられるような環境設定。</p>

雄武高校	○良い人間関係をつくり、サポートするスキルを身につけさせるためにピア・サポート研修を行い、他者と協力的に様々な問題を解決していく力を養う取組を実践	○自殺予防やいじめ未然防止の観点から、学校環境適応感「アセス」や子ども理解支援ツール「ほっと」の基本的仕組みや活用について校内研修を開催、指導上の工夫や改善を検討
訓子府高校	○毎月実施している生徒集会において各クラス、各委員会の代表による反省と目標の発表 ○外部講師を招いての「心の健康講座」の実施	○子ども支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化 ○管内教育相談研究大会を開催し、関係機関や近隣校との連携強化
清里高校	○10月6日(金)ふるさとキャリア講演会の開催(小中高、町と連携) ○11月4日(土)緑町小学校の学芸会へボランティア参加(今年度で閉校を迎えるため、学芸会の手伝いを実施)	○10月12日(木)交通安全啓発活動(斜里警察署と連携)
女満別高校	○地域の関係機関等の協力を得た、児童会、生徒会の取組の充実	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の強化
北見北斗高校(定時制)	○交通安全特別作戦 2日間に渡って実施。交通安全意識の高揚を深め、奉仕活動等を通じて地域社会の一員であることを認識させた。 ○保健授業(講師:北見市保健福祉部健康推進課保健師) 思春期の心身の変化を理解し、自分や異性を大切にす気持ちや望ましい人間関係について学んだ。	○進路講話(講師:北見赤十字病院作業療法士) 事例紹介を通じて良好な対人関係をどのように作るのかなど、講話や生活技能訓練体験を実施した。
網走南ヶ丘高校(全日制)	○網走警察署の協力を得たスマートフォン、SNS利用に関わるトラブル対応関連の講話の実施 ○ピアサポートを利用した自己肯定感・思いやりの心を育む取組の充実	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した支援体制の充実
遠軽高校(定時制)	○社会福祉協議会の協力を得た、全校ボランティアの取り組みの充実 ○自律性の伸長や自分や他者を大切にす心を育む定時制通信制親睦交流会の開催	○子ども理解支援ツール「ほっと」を活用した研修会や支援体制の強化 ○担任と生徒の面談(ホームルームカウンセリング)やスクールカウンセラーを活用した支援体制の強化
網走養護学校	○保護者や地域の関係機関等の協力を得て学校祭を実施。自己肯定感や達成感を育む取組として高等部は販売、小中学部はステージ発表、保護者・関係機関はバザーを行った。 ○協働や思いやりの心を育む交流として、地域の小中学校・特別支援学校・高等学校との交流会を開催。	○教員と保護者が福祉サービスに関わる事業所を視察し、連携を強化することで支援体制を強化。 ○道徳をテーマとした人形劇の鑑賞会を近隣の小中学校と合同で開催。
紋別養護学校	○生活単元学習や作業学習など地域の方との交流を通し、思いやりの心を育む取組 ○日常生活指導の中で生徒の課題に沿った相手の気持ちを考える学習の取組	○いじめの実態や未然防止のため、学校関係機関等の支援会議、ケース会議の開催 ○道徳についての学習会への参加、職員への還元
紋別養護学校ひまわり学園分校	○家庭や地域等多くの人との関わりの中で、心のふれあいやコミュニケーション能力の育成を図る機会としての同窓会、交流学习の実施	○いじめの実態や未然防止に向けた取組について、学校評議員会や学校見学での公開や説明
北見支援学校	○児童生徒の他者評価を取り入れた道徳の指導の展開と通信等を活用し各家庭への教育活動の理解と啓蒙 ○人権委員会の協力による思いやりの心を育む指導、交流の実施	○保護者支援に関する行政、福祉、児相、病院との実務者会議の実施と協力、連携体制の確立
紋別高等養護学校	○本校いじめ対策の概要等の説明を通して、地域一体となった取り組みを推進するサポート委員会の開催	○いじめの早期発見に向けた対応を校内で協議するいじめ防止対策委員会を開催(保護者及び関係機関への迅速な連絡・対応)